グレードアップ推進講座を振り返って

活動等に係る情報提供や技術力向上を促進するため、栃木県農地･水･環境保全向上対策推進協議会で開催した「グレードアップ推進講座(5回)」の結果についてとりまとめました

◆◆平成20年度講座一覧◆◆

講座	テ　ー　マ
第１回	元気な農業農村と地域づくりの進め方
第２回	長寿命化対策の効果的な推進について
第３回	先進的な農業生産の取組拡大に向けて
第４回	生態系保全の取組拡大に向けて
第５回	農村景観の保全創出に向けて（農村景観シンポジウム）

平成２１年２月
栃木県農地･水･環境保全向上対策推進協議会

第１回講座　元気な農業農村と地域づくりの進め方について

１　開催日時　平成２０年１１月９日　　午前9時～12時
２　出 席 者　活動組織構成員、市町･農業振興事務所担当者など　２８９名
３　目　　的

本県農業の持続的発展に不可欠な水田農業の構造改革や担い手育成等について、農地・水の共同活動や地域における話し合いを活用しながら一層の促進を図るため、制度内容や推進上の留意点等について学ぶ。

また、元気な地域づくりに向けた先進事例を通して、農業者・地域住民の協働による取組を進める上での留意点やポイント等について学ぶ。

４　内　　容

(1) 地域農業の振興に向けた体制整備

講　師：県農政部経営技術課　経営体育成担当　主査　菊地正美氏

水田経営所得安定対策制度の概要及び、集落営農の取組に向けた留意点等及び「将来の地域農業の在り方」検討の必要性を説かれた

(2) 元気な地域づくりをめざして　～人が変われば、地域が変わる～

講　師：栃木県地域興しマイスター　大森由久氏

旧粟野町永野地域における直売所・農村レストラン等をはじめとする地域興しに向けた様々な取組の経過や成果、推進上の課題及び対応方策について報告しながら、意識改革の重要性や都市住民との交流の意義、さらなる発展に向けた方向性等について報告された

※印象に残ったキイワード

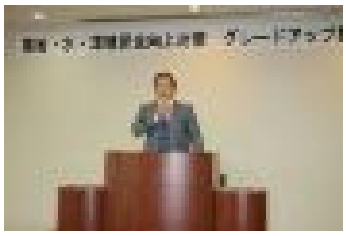
・外部視点は地元の魅力を気づかせ、交流を通じて地元と人が変わる
・地域の知恵や能力、スキルの結集が大事
・農業体験や作物生育ｽﾃｰｼﾞを見ることで食や農産物への理解が深まる
・地域興しには、拘わる人達自信が楽しみと自信を感じる事が重要
・人間がものを食べる以上、農地や農業は不可欠なものである

(3) 体制整備構想策定上の留意点

説明者：県協議会事務局　主幹　青木俊三氏

体制整備構想検討にあたっては地域の幅広い視点を取り入れながら、地域における話し合いを充実し、将来の目標や夢を検討されるよう説明された

菊地氏


大森氏

出席者の状況

第２回講座　長寿命化対策の効果的な推進に向けて

１　開催日時　平成２０年１２月７日　　午前10時～12時
２　出 席 者　活動組織構成員、市町･農業振興事務所担当者など　２３８名
３　目　　的
　生産資源の長寿命化対策の効果的な取組を促進するため、点検・診断・計画策定から実践上の留意点等について体系的に学ぶ。
４　内　　容
(1) 施設の点検・診断・補修のポイント
説明者：県安足農業振興事務所　農村振興部　係長　阿部恒久氏
　施設の長寿命化に資する、点検・機能診断・補修作業のポイントについて説明された
(2) 施設の補修にあたっての留意点
説明者：水土里ネットとちぎ　技術部　施設管理課長　野澤伸輔氏
　実践活動に際しての、工法選定、使用材料、作業手順、留意点等について説明された

第３回講座　先進的な農業生産の取組拡大に向けて

１　開催日時　平成２０年１２月７日　　午後1時30分～4時
２　出 席 者　活動組織構成員、市町･農業振興事務所担当者　など１８１名
３　目　　的
　環境に配慮した先進的な農業生産の取組拡大を通じて、本県農村環境の保全向上や農業振興に資するため、生産技術や先進的な取組事例について学ぶ。
４　内　　容
(1) 環境保全型農業の取組事例の報告
報告者：小林３・４区ユートピア　和田孝氏
　逆面エコ・アグリの里　　藤井伸一氏
　先進的な農業生産活動に取り組む活動組織から、取組の経緯をはじめ、実践上の技術的課題等について報告された
(2) 技術上の留意点と計画づくり
説明者：県経営技術課　技術指導班　係長　星一氏
　農業生産における環境への配慮の意義、技術的課題への対応、県内外の関連取組状況等について説明された

第４回講座　生態系保全の取組拡大に向けて

１　開催日時　平成２１年２月２２日　　午前10時～12時
２　出 席 者　活動組織構成員、市町･農業振興事務所担当者など　２８５名
３　目　　的
　生きもの調査による意識高揚を基本とし、生態系保全に向けた実践活動を促進するため、安価で効果の高い水田簡易魚道をはじめ、様々な保全手法等について学ぶ。
３　内　　容
(1) 水田魚道の効果について
報告者：NPO法人 栃木県環境カウンセラー協会　中茎元一氏
　生きもの調査結果から見た生態系の現状をはじめ､水田魚道の目的と形式､施工方法、経費や県内の取組事例（20箇所)等について報告された
(2) 水田魚道の効果について
説明者：水土里ネットとちぎ　主査　高橋伸拓氏
　生きもの調査を契機とした環境向上に向けた県内の取組事例を紹介するとともに、レーダーチャートを用いた自らの取組に関する検証･評価等について研修した

中茎氏の報告

質疑応答

第５回講座　生態系保全の取組拡大に向けて
【農村景観シンポジウム　～みんなで考えるとちぎの農村風景】

第Ⅰ部　　とちぎの農村景観の保全創出に向けて

１　開催日時　平成２１年２月２２日　　午後1時30分～3時30分
２　出 席 者　活動組織構成員、市町･農業振興事務所担当者など　２３１名
３　目　　的
　農地・水・環境保全向上対策など、関連施策の有効活用を通して、本県の豊かな農村風景を健全な姿で次世代に継承していくため、シンポジウムを開催し、県民及び関係者の理解促進並びに啓発を図る
４　内　　容
(1) ふるさとの風景づくりに向けて
講　師：とちぎ協働デザインリーグ　理事長　藤本信義氏
　風景づくりに向けた視点（自分達で出来ることから始める、ふるさと応援団の活用、つなぎや取り合わせの活用、土を育てながら風景を育てる）を中心に県内の良好な景観事例を紹介し、ふるさとの風景づくりに向けた意義や考え方等について講演された
(2) 富屋西部地区のふるさとの風景づくりに向けて
報告者：宇都宮大学工学部　教授　三橋伸夫氏、学生2名
　富屋西部地区における3回のワークショップの概要及び景観向上の推進にあたってのワークショップの意義や成果、課題等について報告された
(3) 農村景観改善に向けて考えたこと
報告者：富屋西部土地改良区　理事長　入江利長氏
　富屋西部地区におけるワークショップを通した景観検討に対しての、地域住民の立場からの感想や今後の抱負等について報告された
(4) 農地･水･環境保全向上対策を活用した景観向上の取組について
報告者：県農政部農村振興課　副主幹　青柳俊明氏
　農地･水対策を活用した景観向上の取組状況や各地の特徴的な取組事例を紹介し、田園風景の保全向上を契機とした地域づくりの重要性を説明された

藤本先生による講演

入江理事長からの報告

出席者の状況

第Ⅱ部　　農村景観の保全創出に係る研修会

1　時　　間　午後3時45分～4時30分
2　出 席 者　市町･農業振興事務所担当者など　４０名
3　目　　的
　本県農村の豊かな景観を継承するため、合意形成や景観計画策定など、地域における景観整備の実践的な進め方や留意点等について学ぶ。
4　内　　容
(1) 農村景観の保全創出に係る施策について
説明者：(社)農村環境整備センター　北澤大祐氏
　景観に係る法体系や国の動向をはじめ、関連する農林水産省所管施策の概要や国段階の支援体制等について説明された
(2) 景観向上に向けたガイドラインについて
説明者：宇都宮大学工学部　教授　三橋伸夫氏
　景観向上に係る地域の主体性を生かしながら効果的な活動を促進するための啓発手法や景観検討に係る基礎的な留意点等について説明された

環境整備センター施策の説明

三橋教授によるガイドライン説明

各講座とも活動組織の積極的な参加により活発な研修となりました。
また本講座を契機に生態系保全施設の設置や施設の長寿命化などの実践活動に繋がった組織も多数あると報告され、一定の成果を挙げられたと認識しています。
今後とも、活動実践に伴う課題の把握に努めながら、併せて対策のグレードアップを促進する効果的な研修等の開催を検討していきます。